

何のための作業なのか明確にすることがムダを省くことにつながります!

# 「棚卸業務・在庫管理」の進め方

## 日程

第1回目：2019年6月 4日(火) ※各14:00～16:15(全2回コース)  
 第2回目： 6月 18日(火)

## ところ

金山プラザホテル ゼミナールプラザ ※金山駅から徒歩8分  
 (〒460-0024 名古屋市中区正木3-7-15)

## 講師

小林 達哉 氏 株式会社技術経営フロンティア代表取締役



大手製造業・物流業に勤務し、現場管理者・改善リーダー・マネージャーを務め現場指揮、進捗管理、改善活動、社員育成、OJTの実務を10年以上担当。その間、進捗管理・生産性向上・コスト管理や技能伝承のノウハウを蓄積する。退職後、培った経験を活かし、中小企業の生産管理、物流管理、VE管理を中心として、管理者が行う作業者の指導、改善・効率化の実績は多数。コンサルタントとして中小企業を中心に現場に入りボトムアップ型の改善活動を支援している。VESの資格を取得している。

ご参加  
 いただきたい方

- 棚卸業務・在庫管理の改善を行いたい方
- かかる時間を短縮したい方
- 本来必要な棚卸業務・在庫管理の進め方を知りたい方
- 目的を明確にした棚卸業務・在庫管理を行いたい方
- 目的思考を活用して問題解決を行いたい方

### ◆ 現状よりも、無駄なく効率的に棚卸業務・在庫管理を進めることが求められています!

本研修は、テーマを「自社の棚卸業務と在庫管理の現状を把握し、改善ポイントを抽出し業務効率化を進める手立てを理解する」と定めて進めます。棚卸業務・在庫管理の基本的な取り組み方を学びます。その後、棚卸業務・在庫管理について実際の実務課題について、目的思考で考えて問題点や課題を抽出、整理を行い効率の良い棚卸業務・在庫管理を行う具体的な進め方を学び自社の活動に役立てます。講師からの一方的な講義ではなく、当日ご参加いただく方のご要望を柔軟に取り入れながら2回の研修を進めます。

### ◆ 棚卸業務の効率化と在庫コストの削減が、利益の出る企業体質に繋がります!

- ☑ 棚卸業務・在庫管理にとってもムダが多いためより成果の上がるように改善したい。
- ☑ 目的と手段を整理する考え方を活用し棚卸業務や在庫管理を進めたい。
- ☑ 在庫は悪だといわれるが、適正在庫の考え方と求め方を知りたい。
- ☑ 将来的に強靱な企業となるように在庫管理に力を入れたい。
- ☑ 目的思考の考え方を棚卸業務・在庫管理に取り入れることで、成果を今まで以上に上げたいと考えている。
- ☑ 2回を通じてしっかりと理解を深めたい。



研修風景

本研修では、以下のことを学びます。

- ① 棚卸業務の効率化は事前の準備で決まることを再確認する
- ② 実践的な適正在庫の求め方と管理の仕方を知り、在庫管理に役立てる手立てを学ぶ
- ③ 棚卸や在庫の管理技法を学び、会社に戻って棚卸業務・在庫管理に役立てる

# プログラム

【テーマ】 自社の棚卸業務と在庫管理の現状を把握し、改善ポイントを抽出し業務効率化を進める手立てを理解する

## 【1回目】

### 1.在庫管理

- (1)在庫とその特徴
- (2)在庫の論点
  - ①在庫管理②在庫差異③実地棚卸
- (3)在庫コスト
- (4)適正在庫の管理
- (5)需要に合わせた発注方式
- (6)在庫削減の進め方

### 2.在庫管理の実務課題【ワーク】

- (1)VEの考え方を活用する
- (2)情報収集:調査及び構造分解
- (3)機能分析:目的と手段の整理
- (4)アイデア発想:アイデアの発想と具体化
- (5)改善提案:評価と改善案作成
- (6)発表とディスカッション



## 【2回目】

### 3.在庫差異

- (1)在庫差異とは
  - ①発生原因 ②差異の具体的な対策
  - ③実際の事例
- (2)業務フローの区分と展開【ワーク】
  - ①区分 ②細分化 ③要因検討
  - ④目的思考 ⑤手段 ⑥改善案の選定

### 4.実地棚卸

- (1)実地棚卸とは
  - ①実地棚卸のステップ
  - ②実地棚卸の進め方とそのポイント
  - ③実際の事例

### 5.改善活動の実践

- (1)成功する改善活動の進め方
- (2)今後の課題

## 参加者のコメント



棚卸しに限らず活かせる内容のセミナーだった。社内で実際に行っている取り組みをイメージしながら参加することができた。参加者が抱える問題について取り上げるなど講師の柔軟な対応がうれしかった。

【自動車部品製造メーカー】



棚卸業務に関して、これまでよりも深く具体的に改善に取り組むことのできるきっかけを得ることができたと感じた。PDCAサイクルを上手に回し取り組みたい。

【機械メーカー】

## ご参加要項

参加費（1名様）	[中産連会員] 35,000円(+消費税) [中産連会員外] 40,000円(+消費税) 中部VE研究会会員 無料 消費税は開催日の税率にて課税させていただきます。
申込方法	下記申込書に必要事項をご記入の上、切り取らずにFAXにてお送り下さい。(www.chusanren.or.jpからもお申込み可能です) 受領後、確認のご連絡をいたします。受講票・請求書は、開催日2～3週間前に申込責任者宛てに発送いたします。 ※前日、当日のキャンセルはご容赦下さい。ご参加者の都合が悪くなった場合には、代理出席をお願いいたします。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申込みはお断りしております。ご了承下さい。
申込先	一般社団法人中部産業連盟 マネジメント事業部 大土井 〒461-8580 名古屋市東区白壁3-12-13 TEL:052-931-9826 FAX:0120-342-340
振込先	お振込みは、第一回目の開催日前日までに下記銀行口座へお願いいたします。 三菱UFJ銀行 名古屋営業部 当座No.420222 <口座名：一般社団法人中部産業連盟>

## 「棚卸業務・在庫管理」の進め方(6/4・18)参加申込書

※必要事項をご記入のうえ、切らずにこのままFAXをお送り下さい。

所属・役職名		氏名(フリガナ)	
業種(主要製品名)		資本金	従業員数
会社概要		百万円	人
○印をお付けください	中部VE研究会	中産連会員	会員外

年 月 日

会社名 \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_

TEL ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

FAX ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

E-mail アドレス \_\_\_\_\_

所属・役職名 \_\_\_\_\_

申込責任者 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

今回ご記入いただく個人情報、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。  
詳細は当連盟HP(<http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html>)をご覧ください。同意のうえ、ご協力をお願い致します。  
関連情報が不要の場合には右記にシ点のご記入をお願い致します。 □ セミナーなどの関連情報の案内を希望しない

参加費振込日： 月 日 予定